

## 議 事 録

会議の名称	(仮称) 研究学園小学校、研究学園中学校に関する保護者説明会
開催日時	令和3年7月10日(土) 開会 10:00 閉会 11:30
開催場所	つくば市役所 本庁舎2階 会議室201
事務局(担当課)	教育局 学務課
出席者	学園の森義務教育学校保護者 68名
	事務局説明者 局長吉沼正美、次長兼教育施設課課長飯泉法男、次長貝塚厚、 学校教育審議監根本智、学び推進課課長横田康浩、 学務課課長下田裕久、教育施設課課長補佐大口勝也、 こども育成課課長吉田和敏、スポーツ施設整備室主査島田恭利、 中央図書館副館長松浦智恵子、公共施設整備課課長補佐鈴木聡、 公共施設整備課係長須藤公一、教育施設課主事小池祐輝
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 教育局長あいさつ</li> <li>3. 職員紹介</li> <li>4. 説明事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 通学区域について</li> <li>(2) 建設概要について</li> </ol> </li> <li>5. 質疑応答</li> <li>6. 閉会</li> </ol>
1 開会	
2 教育局長あいさつ	<p>教育局長の吉沼でございます。よろしくお願いたします。今、司会の方からもありました通り、皆様には本当にお忙しい中だと思います。そういう中、説明会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また日頃から、学校教育の運営等に対しましても、深いご理解とご協力をいただき</p>

ておりますことに感謝申し上げます。この度、児童生徒の急増に対応するため、（仮称）研究学園小学校、中学校を令和5年4月に開校する予定としております。新設校の学区につきましては、昨年度開催しましつくば市学区審議会において、慎重に審議を重ねていただきました。学区が変更となる予定の皆様には、ご面倒をおかけいたしているところでもございます。特に、研究学園地区の皆様におかれましては、学園の森義務教育学校の開校に伴い、春日学園義務教育学校から学区が変更となりましたが、再度学区に変更が生じる、今回学区案ということもありまして、大変そういう意味では心苦しく思っているところでもございます。学区審議会答申で変更が生じる学区は、学園の森義務教育学校区、沼崎小学校区、島名小学校区及び葛城小学校区の一部となります。つくば市の教育大綱というのを、一昨年策定いたしましたけれども、その中で教育の方針としまして、一人一人が幸せな人生を送ることを最上位の目標と掲げております。その目標のもと、つくば市には、児童生徒一人一人に最良の教育環境を提供するといった責務があると思っておりますし、新しい学校の設置というのは、まさにその責務を果たすためのものというふうにも考えておるところでございます。施設につきましては、この大綱の目標を実現すべく、多様な教育環境への配慮、地域との関係や安全安心を実現した学校づくりに重点を置きまして、整備計画を策定しております。保護者及び児童生徒の皆様におかれましては、今後について、ご心配ご不安のことと思いますが、今回説明する内容についての皆様からのご意見につきましては、真摯に受けとめて対応させていただきたいと思っております。最後になりますけれども、お子様たちのより良い教育環境のためにも、皆様のお力添えを引き続きいただきますよう、よろしく願い申し上げまして、簡単ではございますけれども、ごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 3 職員紹介

### 4 説明事項

(スクリーンを使用し説明)

### 5 質疑応答

学園南1丁目 男性：みどりの学校プールのオープンが令和6年度で、研究学園小中学校の開校よりも1年遅いんですけれども、令和5年度の研究学園小学校中学校の水泳授業はどういう予定になっているのでしょうか。

教育施設課長：1年間空白があきますので、その1年間は既存の近隣の学校のプール、今も学園の森義務教育学校では、足りない部分を近隣の学校のプール等を使用しておりますので、やはり同じような形で、近隣学校の既存のプールを使って、1年間は対応したいと考えています。もしくは、民間のプールなども使用することを検討しているところです。

学園南1丁目 男性：近隣の学校というのは、例えば春日でしょうか。

教育施設課長：今現在、使用していますのが、柳橋小学校ですとか、葛城小学校を使用されてるかと思っておりますので、そこら辺をまた引き続きという形で、1年間使う方向で、まだ本決まりの話ではありませんけれども、考えているところです。

研究学園2丁目 男性：学校の配置図の方をちょっと出していただきたいんですが。小中学校の平面図を出していただきたいんですが、そうですね。この図を見る限りだと、緊急時における避難経路が非常に少ないと感じるんですが、それについて、すでに消防とか、それらに関するところに、確認が取れている状態での設計ですかね。

教育施設課長：消防ですとか、建築基準法とか様々な法律が適用されておりますので、当然、建築確認、消防法の確認を取った上で、許可を経た上で、工

事の方を発注しておりますので、そこら辺の避難経路等は、すべて定められたものに基づいているというような形になっております。

研究学園2丁目 男性：その定められた資料についての開示はされませんか。口頭だけではなくて、これをもって間違いなく、避難経路と確保できますというのがないと多分、非常に危険だと思います。例えば、これ教室の方が1ヶ所に集中していますよね。仮に左側なり、西側かもしくは東側が、避難経路封鎖された場合、非常に、多分子供たち経路が完全に塞がれます。その辺も考えて、もう一度確認をしてもらいたいと思います。もし確認して、問題ないというのであればそれを開示してください。お願いします。

公共施設整備課長補佐：建築物を建てるにあたって建築基準法、あと消防法という審査が必要になっておりまして、そちらの審査は、確認済み証という形で下りております。こちらの学校は、廊下が回廊型といいまして、グルッと回れる配置プランになっておりますので、右左、2方向避難できるような、そういった計画となっております。確認済み証の方の開示に関しましては、確認いたしまして、できれば、そういった方向で検討したいと思います。

研究学園5丁目 女性：新設校できるにあたって、今度通学路の設定なんかもしていかなきゃいけないと思うんですけど、その場合どういった順序を踏むのかっていうのと、もしここじゃなくてこっちの道路を通りたいとかそういった調整はどことすればいいのか、っていうのを教えていただければと思います。

学務課長：保護者説明会の後に、地域の方を対象とした住民説明会を実施して、そのあと開校準備委員会というのも立ち上げます。その中では、制服、体操服、校歌の他に、通学路も確認していただくようになります。こちらは、保護者の方がメインで委員さんになっていただいて、学校の先生も入っていただいて、我々が事務局として入ります。その中で、実際に、今度は登校班ごとの通学路を回っていただくようなことをお願いしたいなと考えています。我

々職員の方でも前もって確認して、例えば、カーブミラーが必要とか、現場を見ながら確認しますけれども、やはりお子さんの目線とちょっと違った部分もあるので、お子さんの目線とか、保護者の皆さんで通るところを想定していただいて、一度回っていただいて、やっぱりこういうものが欲しいということがあれば、まとめていただいて、学校さんと相談しながら準備委員会を通して、お出しただければ、我々はそれを、現場、例えば道路の担当課とか、信号とか歩道、横断歩道は警察になりますので、そういったところに要望していくような形になります。

研究学園5丁目 女性：つくば市は、小中一貫教育を進めるという形になっていたかと思うんですが、今回小学校中学校が義務教育学校ではなく、分ける形になった経緯を教えてください。

学び推進課長：ご指摘の通り、つくば市の小中学校ですが、すべて小中一貫教育ということで進めております。今回は、義務教育学校ではなくて、施設一体型の小中一貫校ということで、新たに設定をいたしました。どちらも小中一貫校ですので、カリキュラム的には、9年間を見通した弾力的効果的な教育課程を編成し、実施するという点では同一になりますので、ただ今回は施設一体型の小中一貫校ということで、設立したというふうなことでございます。

研究学園2丁目 女性：学校の開校にあたって西側に第2グラウンドも、設置する予定みたいなんですが、ここを工事するにあたって、この、西側の道路にも車両が結構行き来するのかどうかを知りたいです。

公共施設整備課長補佐：学校の敷地に対しまして、サブグラウンドは、西側、ちょっと高低差がございまして、崖下といえますか、下の西側の方になっております。サブグラウンドの方の工事に関しましては、新たに駐車場を整備しますので、駐車場に入るための道路の拡幅を伴っておりますので、そちらからの工事車両の進入という形で考えております。サブグラウンドの工事に

関しましては、グランステージ前の通りからの進入になります。

男性：工事ではなくて、学校ができたあとに道路があつて、危なくないですかということですか。

教育施設課長：すいません。質問とお答えがかみ合わなくて、大変申し訳ございません。学校が始まって、運営上の話かと思うんですけども、子供たちが、グラウンドと校舎を行ったり来たりする時の安全というようなことで、よろしいでしょうか。

研究学園2丁目 女性：はい。

教育施設課長：そうしますと、体育の授業等で行うものは、基本的には校舎北側にあるグラウンドなどを使っていければと考えています。第2グラウンドになりますけれども、こちらは主に、部活動等で、テニスコートとか野球球場とかが取れるような形で考えておりますので、一般的にはそちらはあまり授業の中では、使用頻度が低いのかなというふうに考えます。実際に行き来するときが、当然危ないんじゃないのという話も、ご心配もあるかと思うんですけども、確かに今の道路自体は、あまり交通量がないんですけども、やはりどれだけ交通が今後増えていくかもわかりませんので、基本的には、グラウンドから下りまして、水路の上で、待てるような人溜まりを設けまして、安全を確認し、子供たちが行き来したりできるような構造にしているところです。

研究学園5丁目 女性：今は子供が2年生で、学区の変更が初めてなのでちょっとイメージがわからないんですけども、自動的に変更になるということなんですか。それとも、今の学校が良いと言えば良いですよ、というイメージなのか、そこら辺教えてもらえますか。

学務課長：今ご説明させていただいた通学区域は案で、まだ最終決定ではありませんけれども、このままこの形になれば、この通学区域の中にお住まいのお子さんの保護者さんに、令和4年11月末頃に就学通知をお出しします。

これは、令和5年4月開校の時に、新小学校1年生から新中学校3年生になるお子さん全員に通知をお出しします。令和5年4月からの学校は、新しい学校に就学ですという通知です。原則的に、はがきが届いた場合にはその新しい学校に就学していただくこととなりますが、当然今、新しい学校以外のところに就学されていますので、色々な事情があると思います。新しい学校以外を希望ということになると、学区外申請が必要になります。その申請書に、それぞれの申請内容が書かれると思いますので、その申請内容を、学区外基準に基づいて審議いたします。ただし、受入校の方のキャパシティとか、受け入れ困難校になっているとか、色々な状況を加味しながら、お子さんも、当然、家庭環境が違うように、理由もそれぞれ違うと思いますので、一つ一つを審議した上で、承認するか承認されないかということになります。

研究学園5丁目 女性：お友達がいるから、今の学校のままだいいという、そういうゆるい感じではないってことですね。すいません、子供に説明するのに、そこを教えて欲しくて、はい。

学務課長：新しい学校ができるようになって、新しい学区が決まれば、その対象の地域の方は皆さんを指定しますので、どちらの学校も選べるという選択制はございません。

研究学園3丁目 女性：今の件にちょっと近いんですけども、現在5年生以上の子供たちに関してなんですが、すでに春日との分校を経験しています。その時に沼崎小学校、葛城小学校からも多くの児童が移動してきてまして、子供たち随分つらい思い、移動してくる子供たちにしても、残される学校の方の子供たちにしても、たくさん涙を流して辛い思いを経験しました。私も見てきたので、とてもそれは痛感しています。その子供たちに、2回、またその分校というものを味合わせるのは、とても悲しいなと思っていて、自分の子供もちょうど5年生で、またかという思いでいます。なのでせめて、仲の良いお友達がついていう、他の学年の子達もそこを考慮してあげたいと思う

んですけど、5年生以上で2回味わうことになる子供たちにとっては、少し選択肢を与えてあげたいなと思います。また、体操服が変わったりとかして、今までの体操服を使っていいですよっていうことだったんですけど、それでもやっぱり新しい学校のみんなと同じ体操服を使いたいって子供たちのために、学園の森の新しい体操服を準備した家庭がたくさんありました。そういう金銭的な面でも、5年生以上の家庭は、負担しました。そういう負担した家庭に、また再度分校して、また違った体操服とか準備してくださいっていうのも、使ってたものでいいですよと言ってくださると思うんですけど、それでもやっぱり子供たちの気持ちを考えると、新しいものを用意してしまうのが親心というものなので、ちょっと2度の経験は酷かなと思うので、その学年はちょっと選択肢を与えてあげられないものかなと思います。以上です。

学務課長：ご意見ありがとうございます。お子さんとご家庭の状況が色々あると思いますので、今この段階では、お答えできるのが学区外申請を出していただいて、それについては、全部こちらで確認した上で、審議いたします。現段階では、学区もまだ決まっていませんので、決まった後の手続きとしては、指定学校か、学区外かという形にはなると思います。それと、体操服とか制服は、やはり新しくすると、確かにお金がかかるものだと思いますので、今後開催する開校準備委員会の中で、色々決めていただきたいなと思います。それは、例えば、学園の森の制服は、学園の森と書いたワッペンが貼ってありますし、体操服も学園の森と名前が書いています。それを例えば新しい学校は、同じ色で文字を変えるだけとか、ネクタイとかリボンを変えて、色を変えるようにするとか、いや全く同じものでもいいんじゃないのとか色々な意見があると思いますので、それは開校準備委員会の中で話し合いをしていただいて、変えるのも変えないのもいいと思いますので、そこは、色々話し合っただけで決めていただければなと思います。

研究学園 男性：今のも関連するんですけども、この学校が予定されている最大の受け入れ可能な人数と、今後の学区内の生徒の見積もり、今これ、資料を見ると、令和7年まで示されているんですが、その後の開発も含めてここら辺どういうふうになっていくかとか、つくば市の方でどういう計画を持って、こういう学校のデザインをされているのか、そこら辺が知りたいです。要は、今のお母さんのお話もありましたけれども、また分校あるのかとか、正直思うところもあるので、ちょっとそこら辺のところをお話聞かしていただければと思います。

学務課長：私の方から、まず推計についてお話させていただきます。今回、この学校の推計につきましては、適正配置計画の中で、この先20年間の児童推計をしております。開発地域につきましては、開発地域の中での住宅の計画戸数と計画人口というのが、施工されてる方からありますので、そのデータをいただいて、今回の推計については計画戸数が100%になるのが、どれだけかかるかというので推計をしています。ただ、学園の森の地域とみどりの学園の地域については、どれだけのスピードかというのが、はっきりとはわからないものですから、一番早いのが5年という計算と、その後5年刻みの4パターン、5年、10年、15年、20年という計算で4つの推計をしました。あくまでも、計画戸数が最大の100%になるのが、どれだけかかるかということで計画して、それをもとに今回のこの新しい学校と、学園の森を分けた時の人数も計算しております。計算した上で今、令和7年度までの人数をお出ししておりますが、今回、推計としては、令和9年、令和10年ぐらいがピークになるのかなと予想しています。それ以降は、維持するか、徐々に、少しずつ減るという推計になっています。

研究学園 男性：大体、クラス数でいくとどれくらい増えるのでしょうか。図面を見た時に、明らかな空き部屋みたいなところがあるんですが、そのスペアになっているという考えなんですか。

教育施設課長：続きまして私の方から説明させていただきます。今説明ありましたように、研究学園小学校で令和9年前後にピークを迎えるだろうというような設計になっております。そこで、最大数としましても、19クラス程度くらいを見込んでいるところです。先ほどお示ししました図面では、6学年掛ける1学年3クラスということで18クラスに加えまして、特別支援学級というのも当然設けてあるんですけども、それで整備しております。今後増えてくるという見込みが当然ありますので、それに耐えられるように、多目的スペース、多目的教室という名前で、今言われましたような空き教室というわけではないんですが、そういうものを作りまして、普通教室に転用をして、児童生徒の増加に対応していくというふうな方向で考えて、設計したところです。最大値としましては、小学校で22教室ぐらいまでは、転用が可能で、中学校につきましては、令和13年前後にピークが来るであろうというようなことで、そういう時が大体9クラス程度というふうなことを見込んでいるところなんですけど、今現在、3学年掛ける2クラスで6クラス。最大では、やはりピークを迎える9クラス程度は対応できるということで、設計の方は見込んでいるところです。

研究学園3丁目 女性：平面図を見たときに、実際に子供たちが使うクラスは、普通教室って書かれているところかなとは思いますが、今現在数えてみたら24個だと思うんですけど、もう、令和7年で27クラス必要だと思うんですけど、実際に本当に足りるのかなっていう不安があるんですけども、

いかがですか。

教育施設課長：今数えられた数字っていうのは、小学校と中学校あわせてではなくて別々に数えられたものですか。

研究学園3丁目 女性：ごめんなさい。ちょっと印刷物自体が小さいので、普通教室って小中で24クラスだと思うんですけど。

教育施設課長：建物が真ん中に2つ、バスケットコートの絵があるものが体育館になりまして、それが小学校中学校の体育館になります。その図面の右側の大きい方が小学校になります。体育館挟んで左側の建物が中学校になります。そうしますと、小学校で普通教室が当初は18クラス、中学校では6クラスという形になりますので、6と18合わせると24という数字になってくるかと思しますので、そういう形でしょうか。

研究学園3丁目 女性：中学校の方って、普通教室自体って、ぎりぎりしか作ってないっていう状態ですか。さっき令和9年でピークかなっていうのは、多分8年9年で増えていくと思うんですけど、それは多目的室とかで賄えるというお考えっていうことの認識でいいですか。

教育施設課長：はい。今おっしゃる通り、多目的室とかを普通教室に転用することで、対応できるという形の設計となっております。

研究学園4丁目 男性：生徒数の話、今大分されたと思うんですけども、その前からの歴史でいうと、春日がパンクしました、学園の森もパンクしました。今回、そういうふうに見えちゃうんですよね。推計は、当然あると思うんですけど、上振れしたとき下振れしたときの、その割合というか、それがあってなかったと思うんですね。その辺の、どこまで増えても大丈夫ですっていうのを、ちゃんと数字で、示していただいた方がいいのかなと思ってます。質問じゃないです。

学務課長：推計については、今お話させてもらった通り、計画戸数をもとに、100%になるという形で推計しております。ただ、推計は、あくまで予想ですので、推計値に対して、毎年実際学校の児童生徒数がどれだけかというのも、こちらでは把握をしておりますので、その差というのも全部確認はしております。今のお話のように、100でこれ以上ないかなという、アッパーで一応計算はしていますので、それ以上増えることがないのではないかと考えています。

研究学園 4丁目 男性：すいません、それであれば、小学校の間に2回も、学校変わらなきゃいけないっていう状況に、そもそもしないように、計画を立てていただきたいと思います。

学務課長：はい。ご意見としてお伺いさせていただきます。

研究学園 5丁目 男性：先ほどの方の意見はほぼ一緒なんですけれども、結局、春日学園に新しく開校したのでって集めたらパンクしたから、プレハブを建てた。プレハブ建てただけど、それもパンクしたから学園の森を作った。学園の森を作ったけど、やっぱり足りなくなって、またプレハブを建てた。ここがパンクしたから、今度研究学園小中学校になっているというふうにしかな、やっぱり私も見えないんですね。計画っていうのはあくまで計画であって、その予定通り進むと思いませんし、予備として、その研究学園小学校中学校も予備の教室を作ってるって言うてますけれども、これもまたパンクする可能性は十分にあるだろうと。学園の森の時に聞いたときには、やっぱり近隣の学校から転校してくる、予定外に入ってくる生徒数が多くてパンクしたって話もあるので、研究学園もまた同じことが起こる可能性はあるんじゃないかと。となると、そのパンクしたときに、どこにプレハブを作るんだという話までちゃんとしておくべきではないかと思うんですけれども、どこまで、甘い見通しでいくのか、最悪の場合どうするのかという問いに対する、対処についてはですね、検討しなきゃいけないだろうと思っています。そうだと、おそらく第2グラウンドをおそらくプレハブ建てることになるんじゃないかと勝手に想像しましたが、とすると、道路の問題が、先ほどに戻ってきますけど、出てくるんじゃないかと思ってしまうんですけど、教室が今の計画でパンクした時に、どこにプレハブを建てるんだということについて、コメントをいただければと思います。

教育施設課長：ありがとうございます。基本的に、先ほどから申し上げておりますように、その100%の計画戸数というのを踏まえてということですよ

で、基本的には 100%を超えることはないというふうには考えているところですが、万が一というようなことも、の場合のお話かと思いますので、その時には、やはり建物を別敷地、というのはちょっと教育上とか管理上とか、やはり考えにくいと思いますので、万が一にも、さらなる増築が必要だというふうな場合は、同敷地内に増築を検討してくしかないというふうには考えているところです。

研究学園 2 丁目 女性：私も基本的には今質問された方と同じような点を懸念しております、その上でちょっと一つお伺いしたいのが、この資料の学級数、児童数の推計、このシミュレーションに関しては、どのようにして算出されたかという部分、ご説明はいただいたんですが、そこで一つ気になったのが、学区の方は、ここで出ている学区はまだ案ということで確定ではないというお話だったかと思えます。ということは、もしこれで学区が、学区のエリアが変更した場合、このシミュレーションの数字も変わってくる。さらには今のお話あったように、学区外からの児童の受け入れをどの程度認めるかということで、この辺りの数値、大分変わってくるのではないかなというふうに考えております。ここで伺いしたいのが、学区がまだ確定にならないという点、理由が何かございましたら、教えていただきたいなと思っております。

学務課長：学区の設定につきましては、新しい学校を作るとき、学区審議会でも審議していただきます。その中で今回は、この人数差といろいろありましたので、審議の過程の中で、人数がもう少し減るような形とかで研究学園 4 丁目を新しい学校にしたときの人数とかもお出しして、委員さんの中で審議していただきました。しかし、その中でいろいろ話し合っていた上で、今回のこの答申という形の案で出てきました。この中で、今、案として出てきておりますので、保護者の方の意見と、地域住民の方の意見をお伺いして、最終的に皆さんの意見を含めてですね、検討して、教育委員会の中で決定し

ていくという形になります。ですので、これで決定してしまうということになると、地域の方のご意見もお伺いしないことにはそれはいけないかなと思いますので、皆さんの意見をお伺いして、最終的に決定していきたいというふうに考えております。

研究学園2丁目 女性：ありがとうございました。では、そういった意見交換等を踏まえて、また最終的に学区が決まるのはいつごろを想定されておりますか。

学務課長：いつ決まるというのは、ちょっと今断言できないんですが、ただリミットはあります。それは令和5年4月の開校ですので、前の年、令和4年11月には就学通知をお出ししなければいけませんので、それをお出しする前、最低でも令和4年10月に教育委員会の中で規則を変更しておかないと、通知がお出しできないので、そこが最終リミットにはなります。

研究学園2丁目 女性：うちの子供も、まず春日に行ってそのあと学園の森で、今度研究学園の予定なんですけれども、その空き教室があるから大丈夫っていう説明は、2番目の入学説明会の時にあったことなんですよね。そのあとすぐに、やっぱり教室が足りないんで増築しますっていうことになったんですけれども、今度の学校は住宅地の中にあるっていうことで敷地も狭いですし、新しいプレハブ小屋を建てるっていうのは難しいと思うんですけど、なので、人数のことにに関して、学区のことにに関しては、かなり重要なことだと思います。春日は空き教室があると聞くんですけれども、そういった学園の森と新しい学校だけではなく、春日とかも含めた広い目を見た学区の変更っていうのは検討なさらないのか。ましてや、研究学園2丁目の新しい学校は、中学校が2クラスっていうことで、部活動などの活動がきちんとできるのか。また今、学園の森で部活を始めた子は、新しい学校に行けるとなると、そういったところもかわいそうかなと思うんですけど、その辺に関してはいかがですかね。春日を含めたその学区の変更っていうのは、考えていないのか

どうかっていうところと、あと部活動が成り立つのかどうかっていうところ  
です。

学務課長：春日も含めた活用だと思いますが、それは、この学区審議会の中  
でも話がありました。その時に、お話の中で出たのが、学園の森と、新しい学  
校と、春日となったときに、春日の学区とすると、どこを切るのかというこ  
とも含めて色々話し合いもしていただいて、現行今のこの学園の森と新し  
い学校という形で答申として出ました。今のところ、春日っていうことは、  
こちらでは少しまだ考えていないんですけども、今後の状況を、新しい学校  
も学園の森の方もですね、推計と別で実際の人数を見ているので、それを  
直視しながら、今後のことはまた考えていくように検討いたします。

学び推進課長：部活動に関してお答えいたします。部活動等につきましては、  
先ほどお話ありましたが開校準備等ですね、検討してくに加えて、あ  
と、実際にどれぐらいの子供たちが移動した時に、どの部に何人いるか  
ということが、確定してから、ある程度調整とか、そういった形になると思  
うんですが、ただ、一つお伝えしておきたいのが、今、県の方でも部活動改革  
ということで、部活動のあり方っていうことを一つ検討している部分もござ  
いまして、開校までまだ時間がございますので、その時までにはまた部活  
動のあり方というのが、今の部分とちょっと違ってくる部分が出てくると思  
いますので、その時にまた具体的な形になって、お話ができるかというふう  
に思います。

研究学園3丁目 女性：学区についてお伺いしたいんですけども、今、3丁  
目でしてどちらの学校からもちょうど真ん中あたりかなと思うんですけ  
ども、先ほど、学区の通知が来たら選べないということだったんですけども、  
ちょっとこちらの方を考慮して、選べるようにしていただきたいなと思  
いますけど、無理でしょうか。

学務課長：学区については、設定をした時に、同じ丁目を、分断するって

ことはあまりしたくないなということで設定をしました。ただ今回、丁目に分けているところがあります。それは、研究学園5丁目が、大通りで駅前の方と来夢の杜の方で分かれてるところがありましたので、そこは分かれてしまいました。それ以外は、全部同じ丁目で審議をしていただいて、答申もいただいたってということになりまして、現行のところ、どちらの学校も選べるってことは、今のところ考えておりませんので、ご意見としてお伺いしたいなと思います。

研究学園3丁目 女性：こちらの方で分譲地として販売した時ってというのは、まだこの学園の森っていうのができていなかったと思うんですけども、先ほどそういう分譲地とかそういうので戸数とか、人数を把握した上で学校の計画も行っているということだったんですけども、それで、この土地を売り出した時に学園の森の学区ですということで売り出していて、距離も同じようで、途中で変えなければいけないってのが、ちょっとよくわからないんですけども。最初の計画では、この全部の戸数とかを考えた上で、学園の森は作っていなかったということですか。

教育施設課長：確かに、当初は買われたときには、まだ、学園の森すらなかったという状況ですかね。このTXの沿線開発の計画の中で、学校用地として、2ヶ所、今ある学園の森の学校用地と今回作ります研究学園の学校用地と、当初から用意はされていまして。で、その中で、学校を作るってというのはかなりの費用負担が大きい一大事業となってくるわけですので、やはり国の補助金というのを入れて、事業を進めるようになります。その中で、基準がありまして、一度に、春日から分離新設という形で、国の制度上の話になってしまっただけなんですけど、分離新設という形で新たな学校を設けますという形が、補助制度上の話になります。今度その学校がやはり、また大きくなってきたので、分離新設して新たな学校を作りますよっていう形の今回の計画になっておりますので、もともと、学校用地が2ヶ所あったんですけども、

2ヶ所一気に建てるっていうのは、そういう事情もありまして、現実的には無理っていうなこともありますので、徐々に、次、次というふうな形で、建ててきたというようなところになります。

研究学園3丁目 女性：わかりました。じゃ、選べないということですか。通知が来たら。

学務課長：現行のところ、選択制っていうのは、考えてはいないです。

研究学園2丁目 女性：配置についての質問なんですけど、正門が1ヶ所あると思うんですけど、そちらから生徒が入ることになる予定でしょうか。かなり南側の方からも通学する生徒がいると思うんですけど、正門のみになるのでしょうか。あと、学童クラブの方ですが、ここの入口も1ヶ所と考えてよろしいですか。

教育施設課長：まず学校の方の入口からお話させていただきたいと思います。まず、学校の配置図の一番上北側に、正門という形で1ヶ所あるんですけども、その下校舎脇あたりに、やはりこちらにも門を作って、ここで出入りできるように考えているところです。

男性：すいません、そこで指していただけませんか。

教育施設課長：こちらが正門で書かれていますので、こちら正門という形で、北から来られる方はこちらから入ることも可能なんですけど、やはり、こちらのペデの方から来られる児童生徒の方々もたくさんいらっしゃると思います。その場合には、ここからは入れるような形も考えております。中学生の場合には、こちらが駐輪場になりますので、車両の方の入口になりますが、こちらを通過して中に行くことを想定しているところです。

こども育成課長：児童クラブの駐車場に関しましては、一応専用駐車場として、45台備える予定でございます。児童クラブ駐車場への出入口につきましては、児童クラブ西側1ヶ所としまして、小中学校と児童クラブの間の道路からのみ進入できる配置といたします。駐車場出入口以外の外周につきまし

では、車の出入りができないように、フェンスを設置する予定でございます。  
また駐車場出入口やその付近の道路において、車が滞留することのないように、出入口に十分な間口を持たせてですね、かつ、敷地内で旋回できるようにしていきたいと考えております。

研究学園 2 丁目 女性：あと、すみません、学童クラブの右下にある四角が 7 つある部分は何ですかね。

教育施設課長：そちらは、一応教材の一部としても使えるように、菜園等として使うことを考えております。

研究学園 2 丁目 女性：あと、生徒の出入り、遊びの広場に向かうときは、横断歩道とか、そういうものを設置するんですか。

教育施設課長：子供たちの行き来する部分につきましては、横断歩道、県の方の公安委員会の許可がないとできない話ですので、今回の工事には入っておりませんので、そちらが横断歩道を引いてもらえるように要望して、開校に間に合わせられるようには、お願いしていこうとは思っています。

研究学園 2 丁目 女性：昼間の子供の往来はある予定なんでしょうか。

教育施設課長：基本的にはここ、給食車両ですとか、そういうものは当然通るといふうなことは考えておりますが、一般車両が多数通るといふことは想定しておりません。すみません、ちょっと確認なんですけども、今、子供たちが、昼間通らない、渡らないかっていうご質問でしたか。ごめんなさい、ちょっと聞き違いまして、基本的に業間休みとかで、低学年のお子さんとか、遊具とかを使って遊ぶという時には、そこは通るといふことは想定しております。やはり公道を横切るということもありますので、やはりそこは安全を期してということも、当然必要になってきますので、学校の先生方との調整が必要だということも考えているところです。

男性：何点かありまして、まず今回人数を推計されているということですけど、前回春日から学園の森が開校されたときと、推計の方法が違うというこ

とでよろしいでしょうか。あの時の推計は明らかに失敗だったと思いますんで、同じ推計だと今回も失敗すると思うんですが、その推計方法が違っているか同じかってことをまず教えてください。

学務課長：前回と今回の推計は、今回適正配置計画っていうものがありました。

男性：計画の名前とかいいんで、違っているか同じかだけ、はっきり答えてくれば。

学務課長：推計の方法が変わりました。

男性：今回は基本的には、前よりは信用できるということによろしいですね。

学務課長：今回は、先ほど言ったように計画戸数 100%で計算しての推計としております。

男性：その上でまず、空き教室と予備教室、多目的教室ですね。多目的教室というのは、何教室用意できているんでしょうか。数の方ですぐ、それだけ答えていただければ結構です。

教育施設課長：はい。多目的教室等、転用できる教室は、小学校で6教室、中学校で3教室考えております。

男性：なるほど、一応それが、令和7年度の人数に足るようになっているということですか。

教育施設課長：令和7年以降のピーク時を迎える時の人数に、耐えられるっていう形で考えています。

男性：多目的教室をすべて転用して足りるようになるということですね。わかりました。先ほどからお話をお伺いしてますと、プールの話とかでも、実際春日とかで、1学年の間プールがなかった学年があったという話なんかを聞きまして、もちろんすべて転用できるわけではないんだと思うんですけど、できないこともあるとは思いますが、そういうところをきちんと説明していただかないと、すべてできてますというような感じで、取り繕って説明をす

るのはやめてください。以上になります。

教育施設課長：プールにつきましては、すいませんです。

研究学園4丁目 女性：学区のことなんですけれども、今、学園の森でかなり人数が爆発して、新しい小学校を作りますっていう、そういう状況ですけども、新しい小学校の学区で面野井とか、他の小学校の学区が入ってきているっていうことに、ちょっと疑問を持ってしまして、最初は学園の森が出来たときも、東光台が学区だった時期もあったんですけど、結局は、学園の森が爆発して、東光台は沼崎になってしまったとか、そういう経路があったと思うので、最初から面野井とか他の小学校の学区のエリアを入れてしまうと、そこにまた住宅が密集して、また爆発してしまうんじゃないのかなっていう、心配をしているんですけども、まず爆発した学園の森の中だけで、例えば、研究学園小に分割するみたいな、そういった案はないんですかね。

学務課長：推計なんですけども、先日もご質問がありました。この、学園の森の推計の中には、実は学園南1丁目の人数を入れた推計をしてあります。これは、学園の森が開校した当初から、学園南1丁目はほとんどが学園の森に行っている状況があったので、その推計自体に、学園南1丁目を入れた形になっていますので、今回の推計を分けた部分で、学園南を学区として入れてありますので、そこは入っております。面野井については、先ほどの拡張用地の部分の住所が面野井になりますので、そこを含めた学区を考えておまして、面野井自体が、実は学年、5人以下ぐらいの人数しかいないところです。中東原新田っていうところも、今の0歳から15歳まで含めて総人数が5人以下ぐらいの人数のところなので、その地域が今学区として入っていますけども、この推計以上に増えることがそうないのかなと考えています。学園南1丁目など、今回入れたものについては、この学区自体が同じ開発地域内、葛城地区っていう開発地域内にありますので、学園南1丁目も学区として入れました。面野井は、拡張用地があるということで、面野井も県道より北側

だけの地域を入れたような形での学区を考えて、今回なりました。面野井については、これから大規模開発はできないような市街化調整地域ですので、それほどお家が建つってということはないのかなと考えております。あと、学園南1丁目についても、大分もう家が建っていますので、計画戸数の中には入れてありますので、そこも含めた形では、見込んでおります。

研究学園4丁目 女性：逆に、学園の森の方の敷地はどんどん、まだまだ家が建ちそうな感じに見えるんですけども、急に学園の森学区だったけれども、やっぱり研究学園小になりますよ、みたいなことが途中で起きたりはしないのでしょうか。

学務課長：先ほど、推計のときにお話させていただいた計画戸数を100%で見えています。それは、各丁目ごとの計画戸数がわかっておりましたので、それをもとに推計をしております。現段階で地域によっては、100%に近いところもあると思いますので、そういったところも見ながら、実数と推計値の差も見てはいます。その中で、この推計している以上に、それほど増えるってことはあまりないのかなというふうに考えています。

司会：大変恐縮なんですけども、会場の都合上、もうお一方お二方、今まで出た質問以外の内容もあればと思います。あと2回目をお待ちの方がいらっしゃいますので、皆様、よろしければ、ちょっと2回目の方という方で進めさせていただければと思うんですけども。それでは、1回目の方でいらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。なければ、恐縮ですけども、2回目の方お待ちになっていますので、1回目の方、よろしいでしょうか。

研究学園2丁目 男性：まず、全般的なものは、全然見えてないんですけど、先ほどから言っています学区だったりとか、各種警察との協力時期がいつ完了するのか、歩道とか、その辺の整備について、全般的な部分が全く見えてないんで、多分他の方々も、わからないと思うんですよ。いつ自分の地域が工事が始まって、どんなふうに危険があるとか、そういったものは全然今見

えてないんですよ。こういったものについては、いつ説明していただけますか。今すぐ説明できないのであれば、またどこか時期をもって説明していただけるっていう認識でよろしいでしょうか。

学務課長：先ほど、横断歩道とか、いろんなそういう通学路に関しては、我々は今、見たりして、随時警察にもお話をしてお願ひしている部分もあります。それと、先ほど開校準備委員会の中でのお話については、回っていただいて要望上がってきてる部分は、また随時警察にもお話して、回答なりいただいたら、それは即、その開校準備委員会の中で、お話させていただいて、開校準備委員会のメンバーさんは保護者さんですので、会議で話し合ったものは戻ってもらって、保護者さん皆さんにお伝えしていいいただいて、意見を聴収して、また戻ってきてもらうような形になるので、随時随時そのお答えはしていくような形にはなります。

研究学園2丁目 男性：それは次回いつやるっていうのが、何かもう決まっているという認識ですかね。

学務課長：開校準備委員会は、保護者説明会、住民説明会が終わった後になりますからまだこの先にはなります。

研究学園2丁目 男性：その時期はいつですか。

学務課長：今のところ今年の12月前後頃にできればなと思っています。ただそれは、まだ確定的にはならないんですけど、準備委員会のメンバーさんを、学校さんをお願いして、保護者さんにもお願ひしますので、それはお知らせしていただいて、皆さんにいつから準備委員会も始まるよということはわかると思いますので、1回目やった後、その時の内容とかもまた持ち帰ってもらうんで、随時それは学校さんと保護者さん通してお話がいただけると思います。

研究学園2丁目 男性：要は、そういった流れの全般的な部分を今後出していただきたいと思うんですが、可能でしょうか。

学務課長：ご意見として承って、先ほど話した通り今日の資料とか、会議録とか全部載せていきますので、ホームページ等でお知らせするような形でよろしいですかね。

司会：はい、それでは貴重なご意見ありがとうございました。このあたりで質疑応答を終了させていただければと思います。本日はたくさんのご質問、ご意見、ありがとうございました。本日いただきましたご質問、ご意見、今後実施する地区住民説明会のご意見等を踏まえまして、通学区域の決定や施設建設を進めてまいりたいと思います。本日の説明会資料や質疑応答内容については、つくば市ホームページに近日中に掲載いたします。本日の説明内容等に関しまして、さらにご質問やご意見がある場合は、学園の森義務教育学校ホームページよりご確認いただけます専用サイトよりお問い合わせください。なお、専用サイトよりお問い合わせいただいたご質問等への回答は個別回答ではなく、市ホームページ上での公表をもってかえさせていただきます。本日は、大変お忙しい中、貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。以上をもちまして「(仮称) 研究学園小学校、研究学園中学校に関する保護者説明会」を終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

## 8 閉会